



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東 大

上場会社名 キックマン株式会社

コード番号 2801 URL <http://www.kikkoman.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 染谷 光男

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起

TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	215,394	△0.8	14,660	△9.5	12,589	△14.7	8,050	△3.1
23年3月期第3四半期	217,180	△0.4	16,196	△13.3	14,755	△13.8	8,305	△8.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,552百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △689百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	39.25	—
23年3月期第3四半期	40.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	323,378	160,698	49.2
23年3月期	298,867	162,600	53.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 159,111百万円 23年3月期 160,730百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	△1.2	17,200	△10.5	14,600	△12.8	8,600	10.7	41.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料 6ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	210,383,202 株	23年3月期	210,383,202 株
24年3月期3Q	5,316,338 株	23年3月期	5,259,613 株
24年3月期3Q	205,111,157 株	23年3月期3Q	206,136,368 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

第3四半期決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
(4) 追加情報 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	10
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(4) セグメント情報等 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における世界経済は、欧州における債務危機が深刻化し、米国やアジア諸国にも影響を及ぼし、全体として厳しい環境にあります。日本経済は、東日本大震災の影響により、落ち込んだ生産や輸出がサプライチェーンの回復に合わせ持ち直しの動きを見せましたが、欧米経済の先行き不安や、それに伴う円高、原材料コストの上昇等により景気の回復が不透明なものとなっております。

このような状況下における、当社グループの売上は、国内については、しょうゆ・食品・飲料・酒類が苦戦いたしました。その他の事業が前年同期を上回りました。海外については、北米・欧州・亜豪州ともに順調に売上を伸ばしております。

その結果、当第3四半期の連結業績は次の通りとなりました。

## &lt;連結業績&gt;

(単位 百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第3四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	22年4月1日～ 22年12月31日		23年4月1日～ 23年12月31日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 高	217,180	100.0	215,394	100.0	△1,786	99.2	—	△7,027	5,240	102.4
営 業 利 益	16,196	7.5	14,660	6.8	△1,536	90.5	△0.7	△ 720	△ 815	95.0
経 常 利 益	14,755	6.8	12,589	5.8	△2,166	85.3	△1.0	△ 617	△1,549	89.5
四 半 期 純 利 益	8,305	3.8	8,050	3.7	△ 254	96.9	△0.1	△ 403	149	101.8
	US\$	86.86	79.17		△ 7.69					
	EUR	113.49	111.32		△ 2.17					

## &lt;報告セグメント&gt;

(単位 百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第3四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	22年4月1日～ 22年12月31日		23年4月1日～ 23年12月31日		金 額	%	売上 比差		金 額	%	
	金 額	売上比	金 額	売上比							
国内 食料品製造 ・販売	売 上 高	118,191	100.0	113,801	100.0	△4,389	96.3	—	△4,389	96.3	
	営 業 利 益	5,984	5.1	3,765	3.3	△2,218	62.9	△1.8	—	△2,218	62.9
国内 その他	売 上 高	15,095	100.0	15,499	100.0	404	102.7	—	404	102.7	
	営 業 利 益	1,074	7.1	1,309	8.4	235	121.9	1.3	—	235	121.9
海外 食料品製造 ・販売	売 上 高	34,935	100.0	35,053	100.0	117	100.3	—	△2,714	2,832	108.1
	営 業 利 益	6,000	17.2	6,187	17.7	187	103.1	0.5	△ 477	665	111.1
海外 食料品卸売	売 上 高	63,119	100.0	65,658	100.0	2,539	104.0	—	△4,627	7,167	111.4
	営 業 利 益	2,945	4.7	3,042	4.6	97	103.3	△0.0	△ 184	281	109.5
調整額	売 上 高	△14,161	100.0	△14,619	100.0	△ 458	—	—	315	△ 773	—
	営 業 利 益	191	—	354	—	162	—	—	△ 58	221	—
四半期連結 損益計算書 計上額	売 上 高	217,180	100.0	215,394	100.0	△1,786	99.2	—	△7,027	5,240	102.4
	営 業 利 益	16,196	7.5	14,660	6.8	△1,536	90.5	△0.7	△ 720	△ 815	95.0
	US\$	86.86	79.17		△ 7.69						
	EUR	113.49	111.32		△ 2.17						

各報告セグメントの状況は次の通りであります。

#### 【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

##### (国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

##### ■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、前期より導入の「しぼりたて生しょうゆ」に加え、「いつでも新鮮卓上ボトルシリーズ」が順調に拡大し、新たなカテゴリーとして市場に浸透いたしました。しょうゆ市場縮小の影響を受け家庭用全体としては前年同期の売上に及びませんでした。加工・業務用分野では、加工用分野が新規開拓及び既存顧客との取組強化により前年を上回ったものの、外食需要の落ち込みにより業務用分野の市場環境が厳しく、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

##### ■食品部門

つゆ類は、家庭用分野では、主力商品である「本つゆ」が前年を上回り、「ストレートつゆ」や「鍋つゆ」でも、新商品の「サラダ麺つゆ」、「チーズ豆乳鍋スープ」が好調に推移し、また、加工・業務用分野も売上を伸ばし、つゆ類全体として前年同期の売上を上回りました。たれ類は、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」が、TVCMと販促活動の連動により順調に推移し、「ステーキしょうゆ」も売上を伸ばし、たれ類全体として前年同期の売上を上回りました。「うちのごはん」は、積極的な商品開発・店頭販促活動により着実に支持層を広げ、前年同期の売上を大きく上回りました。デルモンテ調味料は、「洋ごはん☆つくろ」シリーズが消費者キャンペーンを行い順調に推移しましたが、東日本大震災の影響により業務用向けの大型容器が大幅な減少となり、前年同期の売上を下回りました。

この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

##### ■飲料部門

豆乳飲料は、豆乳に関するテレビ特集や「豆乳の日」イベントの実施などを通じ、市場拡大につながる積極的な販促活動を実施し、また、500ml容器の投入により新たな市場開拓を行いました。その結果、前年同期の売上を上回りました。デルモンテ飲料は、東日本大震災後の生産体制・資材調達体制を早急に整えたこと、新商品「スイートキャロット」やギフト商品が貢献したこともあり、デルモンテ飲料全体として前年同期の売上を上回りました。部門全体としては、収益改善に向けた一部商品の販売終了の影響もあり、前年同期の売上を下回りました。

##### ■酒類部門

本みりんは、家庭用分野では、主力商品の「マンジョウ芳醇本みりん」をはじめとする1L容器が苦戦し、前年同期の売上を下回りました。また、業務用分野でも外食需要落ち込みにより苦戦し、本みりん全体として前年同期の売上を下回りました。ワインは、「フランスの食卓」「酵母の泡」等の「新生マンズワイン」商品群は順調に推移したものの、カジュアルワインの一部販売終了等の影響もあり前年同期の売上を下回りました。

この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上高は1,138億1百万円(前年同期比96.3%)、営業利益は37億6千5百万円(前年同期比62.9%)と、ともに前年同期を下回りました。

##### (国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素等、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸、運送事業及びグループ会社内の間接業務の提供等を行っております。

ヒアルロン酸が好調に推移しましたが、医薬品メーカー向けの原料出荷の時期ずれ等もあり、化成品等全体として前年同期の売上を下回りました。運送事業は、売上、利益ともに順調に推移いたしました。

この結果、国内 その他事業の売上高は154億9千9百万円(前年同期比102.7%)、営業利益は13億9百万円(前年同期比121.9%)と、ともに前年同期を上回りました。

**【海外】**

海外における売上の概要は次の通りであります。

**(海外 食料品製造・販売事業)**

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外向けの輸出販売及び海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

**■しょうゆ部門**

北米市場においては、家庭用分野では、主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れ、当社のブランド力を生かした事業展開を行ってまいりました。また、加工・業務用分野では顧客のニーズに合わせたきめ細かい対応を行ってまいりました。この結果、現地通貨ベースでは順調に伸長しました。

欧州市場においては、ロシアの業務用向けの出荷をはじめ、重点市場である、ドイツ、フランス、イギリスで順調に売上を伸ばし、2桁成長を達成しました。

アジア・オセアニア市場は、アセアン地域を中心に売上を伸ばし、前年同期の売上を大きく上回りました。

この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

**■デルモンテ部門**

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。

当期は韓国市場で売上が回復し、中国市場も売上が大きく伸長いたしました。また、主要市場である香港も堅調に推移したことから、部門全体として、前年同期の売上を上回りました。

**■その他食料品部門**

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

昨年下半年から進めてきた、パーソナルケアブランド「デザート・エッセンス」の大幅リニューアルの効果が出始めたこと、医師からの斡旋販売が引き続き堅調であることなどから、現地通貨ベースで伸長しました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上高は350億5千3百万円（前年同期比100.3%）、営業利益は61億8千7百万円（前年同期比103.1%）と、増収増益となりました。

**(海外 食料品卸売事業)**

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

放射能被害の懸念による欧州・アジア各国の輸入規制は緩和されてきており、香港など一部地域における日本産品の風評被害の影響も減少してきております。北米や欧州、オセアニアでは引き続き日本食ブームが拡大し、現地通貨ベースで順調に伸長しました。その結果、部門全体の売上は前年同期を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上高は656億5千8百万円（前年同期比104.0%）、営業利益は30億4千2百万円（前年同期比103.3%）と、ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期の連結業績は、売上高は2,153億9千4百万円（前年同期比99.2%）、営業利益は146億6千万円（前年同期比90.5%）、経常利益は125億8千9百万円（前年同期比85.3%）、四半期純利益は80億5千万円（前年同期比96.9%）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、1,329億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ234億9千4百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。固定資産は1,904億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億1千6百万円増加いたしました。これは主に、土地が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,233億7千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ245億1千1百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、608億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ193億1千7百万円増加いたしました。これは主に、1年内償還予定の社債が増加したことによるものであります。固定負債は、1,018億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ70億9千5百万円増加いたしました。これは主に、社債が増加したことによるものであります。

この結果、負債の部は1,626億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ264億1千2百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の部は、1,606億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億1百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.2%（前連結会計年度末は53.8%）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、国内での厳しい市場環境における業績回復の遅れや、原材料価格の影響などを勘案したこと、持分法適用会社の業績見通しが悪化したこと、さらには、日本の法人税率変更に伴う繰延税金資産の取崩し等により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ引下げております。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成23年6月23日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

平成23年11月8日の第2四半期決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

## (通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	281,500	18,500	16,500	10,200	49.73
今回修正予想 (B)	280,000	17,200	14,600	8,600	41.93
増減額 (B - A)	△1,500	△1,300	△1,900	△1,600	—
増減率 (%)	△0.5	△7.0	△11.5	△15.7	—
前期実績	283,463	19,208	16,751	7,770	37.74

※ 為替レート的前提 前回発表予想 通期 US\$ 77.5円 EUR 107.5円  
今回発表予想 通期 US\$ 78.0円 EUR 108.0円

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

連 結（新規） キッコーマンバイオケミファ(株) （新規設立）  
（除外） REACTION SALES CL UK LIMITED （清算）

なお、(株)フードケミファは平成23年4月1日付で、キッコーマンソイフーズ(株)に社名変更いたしました。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

- (4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

連結納税制度の適用

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,247	47,042
受取手形及び売掛金	39,029	45,118
有価証券	131	131
商品及び製品	19,063	19,133
仕掛品	8,699	8,989
原材料及び貯蔵品	3,221	3,499
繰延税金資産	4,988	5,000
その他	4,485	4,410
貸倒引当金	△421	△386
流動資産合計	109,445	132,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,920	39,809
機械装置及び運搬具(純額)	33,686	33,904
土地	15,548	19,658
リース資産(純額)	172	159
建設仮勘定	3,712	3,462
その他(純額)	2,283	2,112
有形固定資産合計	96,323	99,106
無形固定資産		
のれん	25,189	23,932
その他	2,593	3,083
無形固定資産合計	27,782	27,015
投資その他の資産		
投資有価証券	51,944	50,433
長期貸付金	1,318	1,187
繰延税金資産	2,820	3,339
その他	10,703	11,028
貸倒引当金	△1,472	△1,672
投資その他の資産合計	65,315	64,316
固定資産合計	189,421	190,438
資産合計	298,867	323,378

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,626	15,366
短期借入金	5,054	6,210
1年内償還予定の社債	—	20,000
リース債務	71	61
未払金	12,711	11,200
未払法人税等	2,030	1,745
賞与引当金	2,187	685
役員賞与引当金	80	60
投資損失引当金	267	—
災害損失引当金	493	115
その他	3,981	5,375
流動負債合計	41,504	60,821
固定負債		
社債	60,000	70,000
長期借入金	19,555	17,600
リース債務	123	122
繰延税金負債	2,287	2,170
退職給付引当金	3,922	3,512
役員退職慰労引当金	1,099	1,071
環境対策引当金	348	346
工場閉鎖損失引当金	209	209
その他	7,216	6,824
固定負債合計	94,762	101,857
負債合計	136,266	162,679
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	21,210	21,209
利益剰余金	156,248	161,216
自己株式	△5,214	△5,262
株主資本合計	183,844	188,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,230	△1,955
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	△21,194	△27,083
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	△688	△610
その他の包括利益累計額合計	△23,113	△29,651
新株予約権	179	179
少数株主持分	1,690	1,407
純資産合計	162,600	160,698
負債純資産合計	298,867	323,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	217,180	215,394
売上原価	127,333	127,916
売上総利益	89,847	87,478
販売費及び一般管理費	73,650	72,817
営業利益	16,196	14,660
営業外収益		
受取利息	145	79
受取配当金	510	503
持分法による投資利益	469	267
受取賃貸料	432	371
為替差益	1,024	584
その他	806	538
営業外収益合計	3,390	2,344
営業外費用		
支払利息	1,101	1,070
その他	3,729	3,345
営業外費用合計	4,830	4,416
経常利益	14,755	12,589
特別利益		
有形固定資産売却益	609	1,745
投資有価証券売却益	166	31
退職特別加算金戻入益	—	65
その他	30	8
特別利益合計	807	1,850
特別損失		
固定資産減損損失	—	427
固定資産除却損	474	102
投資有価証券評価損	227	44
ゴルフ会員権評価損	11	6
投資損失引当金繰入額	320	—
退職特別加算金	377	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	128	—
上海万博出展費用	432	—
関係会社社名変更費用	—	70
災害による損失	—	593
その他	192	90
特別損失合計	2,163	1,337
税金等調整前四半期純利益	13,399	13,102
法人税等	5,015	5,002
少数株主損益調整前四半期純利益	8,383	8,099
少数株主利益	78	49
四半期純利益	8,305	8,050

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,383	8,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△900	△608
繰延ヘッジ損益	△52	△2
為替換算調整勘定	△7,715	△5,685
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	28	77
持分法適用会社に対する持分相当額	△431	△328
その他の包括利益合計	△9,072	△6,547
四半期包括利益	△689	1,552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△758	1,512
少数株主に係る四半期包括利益	69	39

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	117,402	6,294	30,589	62,893	217,180	—	217,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	788	8,800	4,345	225	14,161	(14,161)	—
計	118,191	15,095	34,935	63,119	231,341	(14,161)	217,180
セグメント利益	5,984	1,074	6,000	2,945	16,004	191	16,196

(注) 1. セグメント利益の調整額191百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	112,978	6,105	30,827	65,482	215,394	—	215,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	823	9,394	4,225	176	14,619	(14,619)	—
計	113,801	15,499	35,053	65,658	230,013	(14,619)	215,394
セグメント利益	3,765	1,309	6,187	3,042	14,305	354	14,660

(注) 1. セグメント利益の調整額354百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。